鈴茂器工株式会社

2021 年 3 月期　第 2 四半期決算説明

2020 年 11 月 25 日

イベント概要

[企業名]	鈴茂器工株式会社
[企業 ID]	6405
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2021 年 3 月期　第 2 四半期説明
[決算期]	2020 年度　第 2 四半期
[日程]	2020 年 11 月 25 日
[ページ数]	15
[時間]	15:00 – 15:15 （合計：15 分、登壇：15 分）
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	1 名 代表取締役社長　　鈴木　美奈子　（以下、鈴木）

登壇

鈴木：鈴茂器工株式会社、代表取締役社長、鈴木美奈子でございます。

本日はお忙しい中、弊社の第 2 四半期決算のオンデマンド音声配信をご覧いただき、誠にありがとうございます。コロナ禍の状況の中、経済活動が活発化してきており、会場での決算説明会の開催も検討いたしましたが、継続した感染予防対策の観点から、オンデマンド音声配信とさせていただきます。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、2021 年 3 月期第 2 四半期決算説明を行わせていただきます。

今回は、3 部構成にてご説明申し上げます。第 1 部として、2021 年 3 月期第 2 四半期連結決算の概要。そして第 2 部として、2021 年 3 月期連結業績予想。最後に第 3 部として、トピックスをお届けいたします。

2021年３月期 第2四半期連結決算 ： 前期比 売上高 SUZUMO

（単位：百万円）

	2020年３月期 2Q累計実績	2021年３月期 2Q累計実績 （前期比）	サマリー
売上高	4,655	4,284 (92.0%)	✓ 第1四半期は、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、前期比で売上高が減少。 ✓ 第2四半期は、経済活動の再開が徐々に進んだことや、テイクアウトやデリバリーといった外食産業の構造変化に伴う新たな需要の取り込みにより、売上高は回復基調で推移。
国内	3,516	3,333 (94.8%)	
海外	1,139	950 (83.4%)	

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 4

それでは、第 1 部 2021 年 3 月期第 2 四半期、連結決算の概要のご説明を申し上げます。

売上高の前期比でございます。

売上高の実績 42 億 8,400 万円、前期比 92%、3 億 7,100 万円の減収となりました。第 1 四半期では、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、第 2 四半期では、テイクアウトやデリバリーなど、外食産業における構造変化に伴う新たな需要の発生により、売上高が回復基調にて推移しております。そして引き続き、事業者および最終消費者の、衛生に対する関心が高くなってきておりますので、衛生資材の関連の販売が拡大しております。

売上高、国内外の内訳といたしましては、国内売上 33 億 3,300 万円、前期比 94.8%、1 億 8,300 万円の減収。海外売上 9 億 5,000 万円、前期比 83.4%、1 億 8,900 万円の減収となっております。

国内につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もございますが、前期では第 2 四半期に消費税増税前の駆け込み需要がございましたので、減収になっております。

海外につきましては、第 1 四半期は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったものの、第 2 四半期は経済活動が徐々に再開しつつあることから、回復基調にて推移しておりますが、アジア地域の販売が停滞したことが、大きな影響を及ぼしております。

2021年３月期 第2四半期連結決算 ： 前期比 PL

SUZUMO

（単位：百万円）

	2020年３月期 2Q累計		2021年３月期 2Q累計		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
売上高	4,655	100.0%	4,284	100.0%	−371	−8.0%
売上原価	2,459	52.8%	2,363	55.2%	−96	−3.9%
売上総利益	2,196	47.2%	1,920	44.8%	−276	−12.6%
販売費及び一般管理費	1,772	38.1%	1,739	40.6%	−33	−1.8%
営業利益	424	9.1%	180	4.2%	−244	−57.5%
経常利益	425	9.1%	178	4.2%	−247	−58.0%
当期純利益	161	3.5%	117	2.7%	−44	−27.6%

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 5

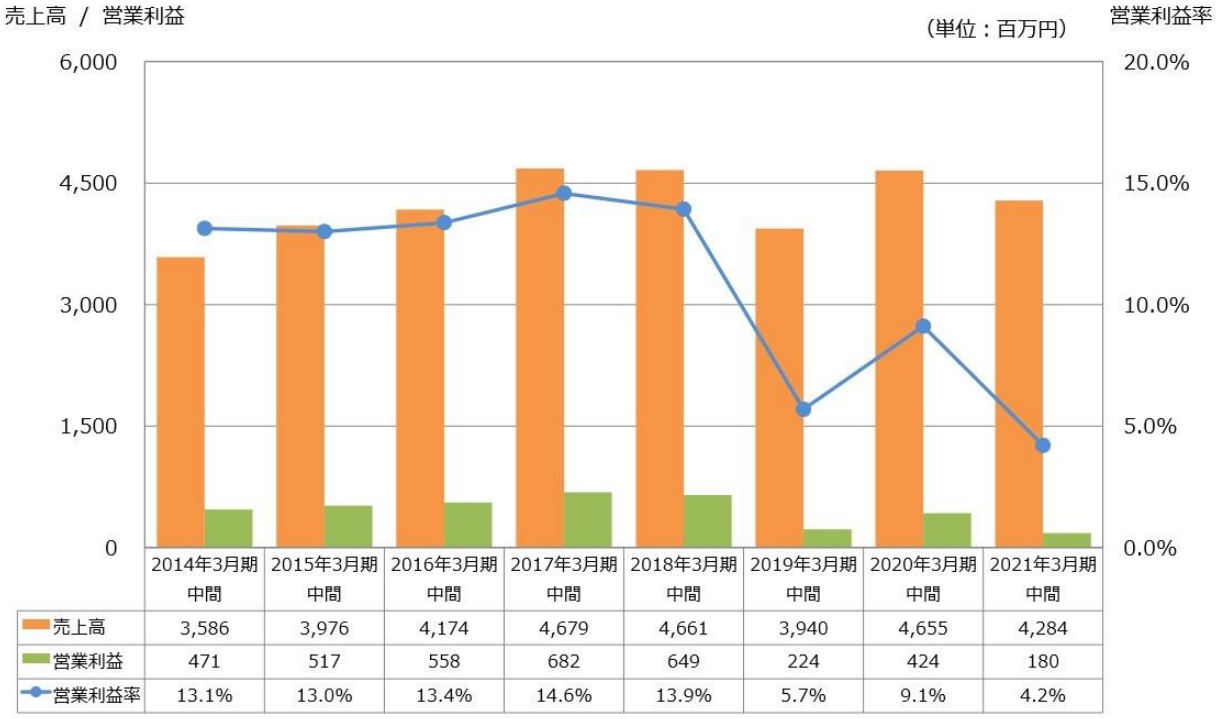
全体における前期比でございます。

売上高 42 億 8,400 万円、前期比マイナス 8.0%。売上原価 23 億 6,300 万円、前期比マイナス 3.9%。売上総利益 19 億 2,000 万円、前期比マイナス 12.6%。販売費および一般管理費 17 億 3,900 万円、前期比マイナス 1.8%。営業利益 1 億 8,000 万円、前期比マイナス 57.5%。経常利益 1 億 7,800 万円、前期比マイナス 58.0%。当期純利益 1 億 1,700 万円、前期比マイナス 27.6%でございます。

売上総利益につきましては、売上高の減収の影響により、前期比 12.6%減の 2 億 7,600 万円の減少となっております。

利益につきましては、販売費および一般管理費が、新型コロナウイルス感染症拡大により企業活動が制限され、展示会費や旅費交通費が減少し、前期比 3,300 万円減少したものの、売上高の減少による影響が大きく、前期に対して営業利益は 2 億 4,400 万円、経常利益は 2 億 4,700 万円、そして当期純利益は 4,400 万円の減益となっております。

2021年３月期 第2四半期連結決算 ：売上高･営業利益の推移 SUZUMO



	2014年3月期 中間	2015年3月期 中間	2016年3月期 中間	2017年3月期 中間	2018年3月期 中間	2019年3月期 中間	2020年3月期 中間	2021年3月期 中間
売上高	3,586	3,976	4,174	4,679	4,661	3,940	4,655	4,284
営業利益	471	517	558	682	649	224	424	180
営業利益率	13.1%	13.0%	13.4%	14.6%	13.9%	5.7%	9.1%	4.2%

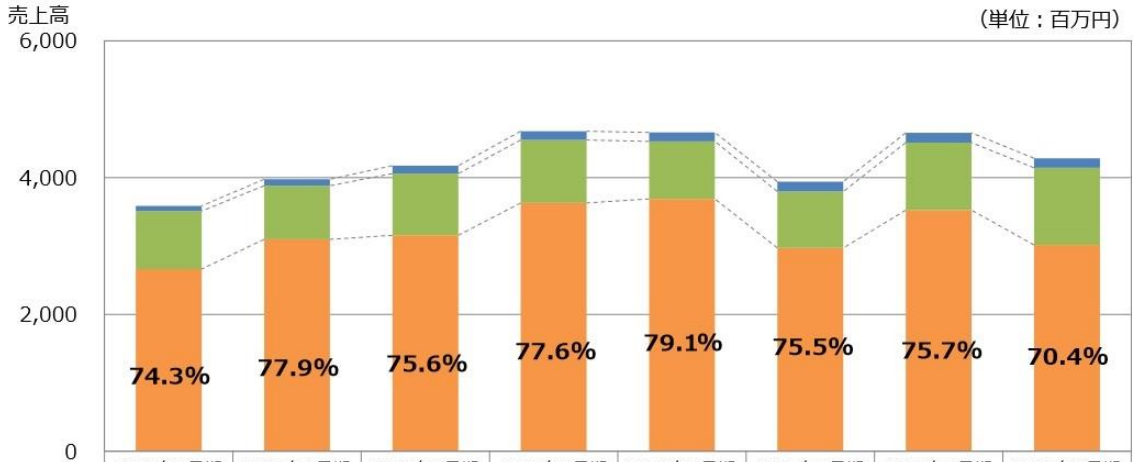
Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 6

売上高と営業利益の推移でございます。

こちらは、2014 年 3 月期より現在までの上期の業績の推移でございます。オレンジの部分は売上高、グリーンの部分は営業利益でございますが、今期は共に減収減益となっております。

2021年３月期 第2四半期連結決算 ：自社製品等の売上高推移

SUZUMO



	2014年3月期 中間	2015年3月期 中間	2016年3月期 中間	2017年3月期 中間	2018年3月期 中間	2019年3月期 中間	2020年3月期 中間	2021年3月期 中間
その他 メンテナンス等	73	95	116	130	132	142	143	140
他社機 炊飯関連機器等	850	784	902	918	840	825	986	1,128
自社機 寿司ロボット等	2,663	3,097	3,156	3,631	3,689	2,973	3,525	3,015

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 7

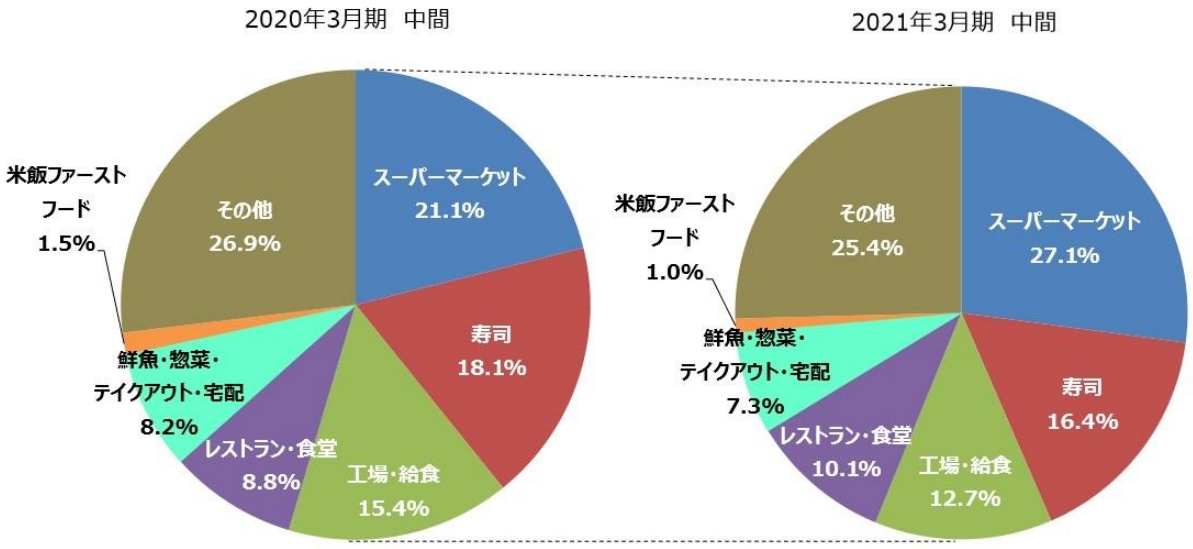
自社製品等の売上高推移でございます。

こちらでは、寿司ロボットを代表とする自社機をオレンジ、仕入れ商品である他社機をグリーン、そしてメンテナンス等のその他をブルーに分けて表示をしております。

自社機売上高は、前期比 5 億 1,000 万円の減収となっておりますが、海苔巻きロボットはスーパーマーケットからの引き合いが増加し、前期比で台数および売上共に増加をしております。また、お寿司のテイクアウト需要に対応した、シャリ玉を移載する機能を持つ寿司ロボットにつきましても、同じく台数および売上共に増加をしております。

2021年３月期 第2四半期連結決算 ：業態別売上比率

SUZUMO



※ 業態別売上比率は単体業績に基づき算出

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 8

業態別売上比率でございます。

上期の売上構成比率が増え、特筆される業態は、スーパーマーケットとレストラン・食堂でございます。

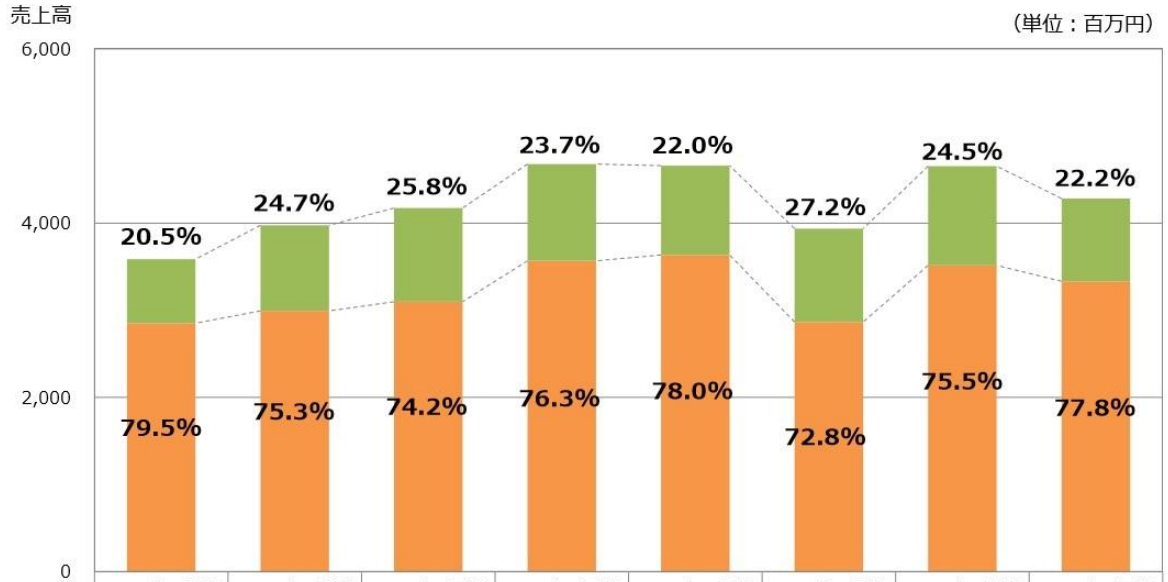
スーパーマーケットは、新型コロナウイルス感染症拡大による、巣ごもり需要の高まりに伴う、スーパーマーケットの業績良化と共に、海苔巻きロボットの新規導入や、入れ替えによる設備投資需要が増加し、前期比 6%の増加となりました。

レストラン・食堂は、ご飯のセルフ化需要の拡大により、ご飯盛付けロボットの販売が拡大し、前期比 1.3%の増加となっております。

この他では、売上構成比率の増加はございませんでしたが、寿司業態では、寿司ロボットの入れ替え需要は少なかったものの、テイクアウト需要に対応したシャリ玉を移載する機能を持つ寿司ロボットや、シャリ玉をお皿に盛り付ける寿司ロボットの市場が増えてきております。

2021年３月期 第2四半期連結決算 ：国内外の売上比率

SUZUMO



	2014年3月期 中間	2015年3月期 中間	2016年3月期 中間	2017年3月期 中間	2018年3月期 中間	2019年3月期 中間	2020年3月期 中間	2021年3月期 中間
海　外	734	983	1,076	1,110	1,026	1,073	1,139	950
国　内	2,852	2,993	3,098	3,568	3,635	2,866	3,516	3,333

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 9

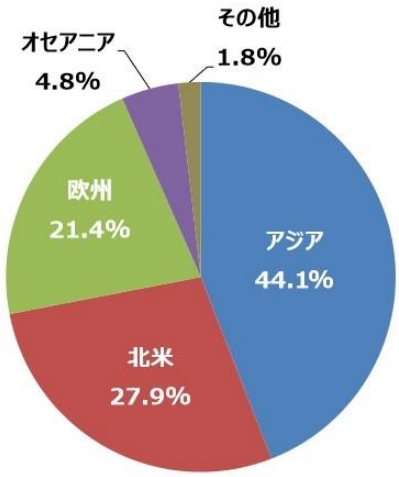
国内、海外の売上比率でございます。

国内、海外共に前期比では減収となっております。海外の売上比率は 22.2%、全売上高の約 4 分の 1 弱となっております。

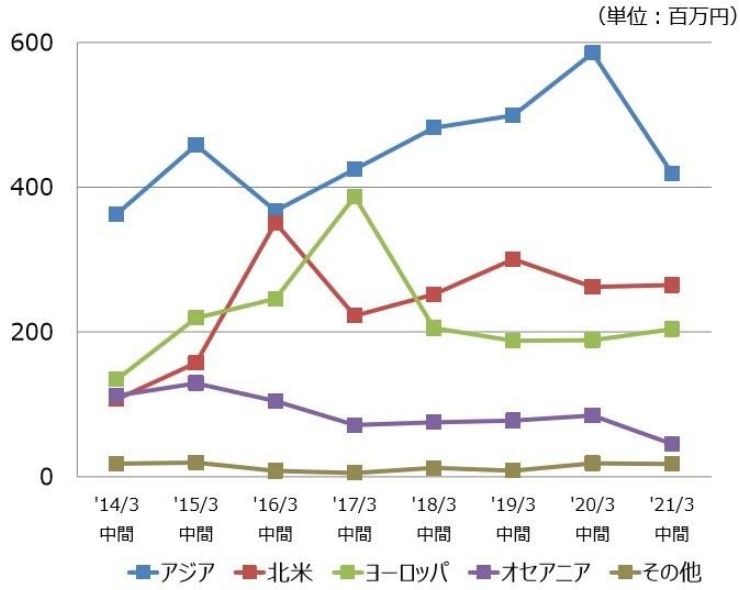
2021年３月期 第2四半期連結決算 ：海外地域別比率

SUZUMO

■ 海外の地域別売上高の割合



■ 海外の地域別売上高の推移



Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 10

海外地域別の売上比率でございます。

地域別の売上比率では、アジアが 44.1%と、一番高い売上比率になっておりますが、アジア地域は、新型コロナウイルス感染症による影響により、経済活動の回復が鈍く、販売が停滞しており、前期比で大きく売上が減少しております。

しかし、中国や台湾等の、中国語圏である東アジア地域における足元の状況では、需要は回復傾向となっております。

北米地域では、経済活動の再開が徐々に進んでいることにより、前期比で増加しております。足元の状況では、アフターコロナを見据えた、新規事業者からの問い合わせが増加しており、北米の市場深耕に向けた販売店との体制強化を行っております。

連結 BS の資産の部、および負債純資産の部につきましては、スライドの数字をご参照いただきたくお願いいたします。

2021年３月期 第2四半期連結決算 ：連結BS 資産の部

SUZUMO

（単位：百万円）

	2020年3月期 期末		2021年3月期 中間		前期比	増減額
	実績	構成比	実績	構成比		
流動資産合計	9,753	70.5%	9,607	69.3%	－1.5%	－146
現金及び預金	6,603	47.7%	6,356	45.9%	－3.7%	－247
売上債権	1,256	9.1%	1,347	9.7%	＋7.2%	＋91
たな卸資産	1,808	13.1%	1,795	13.0%	－0.7%	－13
その他	84	0.6%	107	0.8%	＋27.5%	＋23
固定資産合計	4,076	29.5%	4,248	30.7%	＋4.2%	＋172
有形固定資産	2,800	20.3%	2,969	21.4%	＋6.0%	＋169
無形固定資産	208	1.5%	209	1.5%	＋0.6%	＋1
投資その他の資産	1,067	7.7%	1,070	7.7%	＋0.3%	＋3
資産合計	13,830	100.0%	13,856	100.0%	＋0.2%	＋26

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved.

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375

フリーダイアル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS Asia's Meetings, Globally

2021年３月期 第2四半期連結決算 ：連結BS 負債純資産の部

SUZUMO

（単位：百万円）

	2020年3月期 期末		2021年3月期 中間		前期比	増減額
	実績	構成比	実績	構成比		
負債合計	2,175	15.7%	2,189	15.8%	+0.7%	+14
流動負債	1,110	8.0%	1,093	7.9%	－1.5%	－17
固定負債	1,064	7.7%	1,095	7.9%	+3.0%	+31
純資産合計	11,654	84.3%	11,667	84.2%	+0.1%	+13
株主資本	11,722	84.8%	11,710	84.5%	－0.1%	－12
その他包括利益累計額	－80	—	－55	—	—	+25
非支配株主持分	13	0.1%	11	0.1%	－12.1%	－2
負債純資産合計	13,830	100.0%	13,856	100.0%	+0.2%	+26

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. All Right s Reserved. 12

連結 BS 資産の部及び負債純資産の部につきましては、スライドの数字をご参照いただきたくお願いいたします。

2021年３月期 連結業績予想

SUZUMO

（単位：百万円）

	2020年３月期 通期		2021年３月期 通期		
	実績	構成比	計画	構成比	前期比
売上高	8,930	100.0%	8,600	100.0%	−3.7%
営業利益	765	8.6%	430	5.0%	−43.8%
経常利益	702	7.9%	420	4.9%	−40.2%
当期純利益	321	3.6%	290	3.4%	−9.8%
1株当たり当期純利益	49.85円		44.85円		
配当金	20.0円		20.0円		

※2020/9/11に連結・個別業績予想を発表しております。

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 14

第 2 部、2021 年 3 月期連結業績予想についてご説明申し上げます。

2021 年 3 月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響により、将来の見通しを合理的に算定することが困難であることから、未定としておりましたが、2020 年 9 月 11 日に業績予想を発表しております。

売上高 86 億円、営業利益 4 億 3,000 万円、経常利益 4 億 2,000 万円、当期純利益 2 億 9,000 万円、1 株当たりの当期純利益 44 円 85 銭、配当金 1 株当たり 20 円でございます。

下半期の業績は、依然として新型コロナウイルス感染症拡大懸念があるものの、事業者および最終消費者の衛生意識の高まりや、テイクアウト・デリバリーといった外食産業の構造変化に伴う、セルフ化や省人化の動きが加速し、新しい需要を取り込むことで、底堅く推移すると予測しており、売上高は、前期と同水準まで回復する見込みでございます。

最後に、第 3 部はトピックスでございます。

昨年 11 月に中期経営計画「Growth 2025」を発表いたしました。連結売上高 150 億、営業利益 22 億 5,000 万円、営業利益率 15%、ROE10%という目標数値を掲げました。

もとより、この中期経営計画を策定する際には、私どもを取り巻く環境は、大きく変化していくことを前提に、考えておりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がございますが、この新型コロナウイルス感染症を、プラスに変えていく考えを持った上で進めてまいりたいと思っておりますので、現段階で、この目標数値を変更することは考えておりません。

当社のビジョンである、「食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ」を追求しながら、必ずこの目標を達成していきたいと思っております。

今回、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業における構造変化が起こっています。コロナ禍における新たなニーズとして、事業者や最終消費者の衛生意識が高まることにより、セルフ化のニーズが加速しております。ご飯のセルフサービスにおける盛り付けの機械化が進んでおり、ご飯盛付けロボットの販売を推進しております。

こちらは、最終消費者のセルフ利用を意識し、デザイン性や操作性を従来より向上させた、新型のご飯盛付けロボットを市場投入しております。また、テイクアウト・デリバリーサービスが増えてきたことにより、寿司業態では、シャリ玉をテイクアウト用の容器に移載する機能を持った、寿司ロボットの販売を推進しております。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束しておりませんが、食に関わる需要は、大きく変化をしてきています。この変化を正確に捉え、共に変化に対応していきたいと考えております。

以上をもちまして、鈴茂器工株式会社、2021 年 3 月期第 2 四半期決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

［了］

脚注

1. 音声が不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。